

第二学年 英語科学習指導案

日時 2021年10月28日(木) 4校時
場所 [REDACTED]
生徒 [REDACTED]
授業者 [REDACTED]
指導教諭 [REDACTED]

1 単元名 NEW HORIZON English Course2 [東京書籍] Unit5 Universal Design

2 単元について

本単元は、昨日常常生活に浸透しつつある「ユニバーサルデザイン」を取り上げ、紹介している。日常生活や地域の中で見かけるユニバーサルデザインの施設や製品の例を取り上げており、多様性や共生を重要視する今日の社会を生きる生徒達にとって身近な話題であると言える。本単元を通してすべての人にとって暮らしやすい社会について考えさせ、理解を深める機会としたい。

3 生徒の実態及び配慮事項

男子 21 名、女子 19 名で、男子を中心に活発な生徒が多く、教師からの指示や言語活動には積極的に取り組むことができる雰囲気の良い学級である。比較的理解の早い生徒は少なくないが、全体に質問を投げかけたときに反応をする生徒に若干偏りが見られる状況もあり、授業の途中に行う言語活動で生徒一人ひとりがクラスメイトとコミュニケーションをとりながら積極的に授業に参加できる働きかけを行っていきたい。

4 単元の目標

- ① だれもが使いやすいものや、暮らしやすい社会について考える。
- ② 身近なもの・ことについて、使い方ややり方を説明したり、自分の考えを述べたりすることができる。

5 指導計画 (6/8 時間)

時間	内容
1	ユニバーサルデザインの導入、Preview、Scene1 の単語確認、本文内容確認、「疑問詞+to+動詞の原形」の理解。
2	「疑問詞+to+動詞の原形」の活用。
3	「主語+動詞+(人)+疑問詞+to+動詞の原形」の理解、Scene2 の単語確認
4	「主語+動詞+(人)+疑問詞+to+動詞の原形」の活用、Scene2 の本文内容

	理解、Listen 1、Listen2。
5	Read&Think1 単語確認、「主語+be 動詞+形容詞+that」の理解。
6	Read&Think1 本文内容理解、「主語+be 動詞+形容詞+that」の活用。Round1-2 の理解・確認。
7	ユニバーサルデザインを作った人の功績について書かれた文章の内容確認。
8	してみたいことを伝え合うための表現方法について整理する。

6 本時の目標

- ① ユニバーサルデザインの製品や施設の特徴や仕組みについて理解することができる。
- ② 主語+be 動詞+形容詞+that の形・意味・用法を理解し、自分がうれしいと感じたことについて他者に伝えることができる。

7 本時の評価規準

- ① 主語+be 動詞+形容詞+that の形・意味・用法を理解することができる。(知識・技能)
- ② 習った文法事項を用いて自分がうれしいと感じたことをクラスメイトに伝えることができる。(思考・判断・表現)
- ③ 活動に関心を持ち意欲的に授業に参加している。(主体的に学習に取り組む態度)

8 本時の展開

	学習活動	生徒の活動	指導の留意点
導入 4分	<p>・前回学んだ文法事項を p76 の Key Sentence の例文等を用いて振り返る。</p> <p>【主語+be 動詞+形容詞+that】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ I'm sure that he can ski. ・ I'm sure that our team will win. ・ I'm glad that we met again. ・ I'm glad that Tom came to Obihiro. 	<p>・教師が示した例文の日本語訳を答える。</p>	<p>◇全体に質問をした、生徒の答えた内容を全員で確認する。</p> <p>◇例文をパワーポイントで示す。</p>
展開 44分	<p>本時の目標</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ユニバーサルデザインの製品や施設の特徴や仕組みについて理解することができる。 ② 主語+be 動詞+形容詞+that の形・意味・用法を理解し、自分がうれしいと感じたことについて他者に伝えることができる。 		

<p>・ p76 下部の「自分のことでうれしいと感じたこと」について英作文する (4分)</p> <p>・ 前後左右の人とペアワークをする。(6分)</p> <p>・ p76 本文の音声を聞く (1分)</p> <p>・ p76 本文の音声をスピードを変えて聞く (2分) 速く⇒普通</p> <p>・ p76 本文の音声をシャドーイングする。(3分) 遅く⇒速く</p> <p>・ 本文内容はどのような場面設定であるかを確認する。(1分)</p> <p>・ p77 の Picture Card を用いて本文を導入する。(1分)</p>	<p>・ 一人は自分の内容を伝え、相手は聞き取った内容の英文と日本語訳を書く。</p> <p>・ 本文を聞き本文の内容を推測する。</p> <p>・ 本分の音声を追いかけるように音読する。</p> <p>・ 教師の全体に対する発問に対して答える。</p> <p>・ 教師の全体に対する発問に対して答える。</p>	<p>【知識・技能】 文法事項を理解している。</p> <p>◇机間巡視をして適切に活動が行われているかを確認する。</p> <p>【思考・判断・表現】 自分がうれしいと感じたことを他者に伝えることができる。</p> <p>◇これから読み取る本文の内容の場面設定を確認し本文の内容理解に入りやすくする。</p> <p>◇ p 77 の Picture Card に関連する単語を確認する。</p>
---	--	--

	<p>・ p 76 本文の内容を一文ずつ確認する。(8分)</p> <p>・ p 77 の Round1、2 に各自で取り組む。(7分)</p> <p>・ p 77 Round1、2 をグループで確認し合う。(5分)</p> <p>・ 全体で答え合わせをする。(6分)</p>	<p>・ 4 人グループを作る。</p>	<p>◇本文の一文ずつテレビに映す。</p> <p>◇できるだけ対話を多くする。</p> <p>◇ペットボトル、点字、スロープについてはその都度触れる。</p> <p>◇困っている生徒がいたら適宜指導する。</p> <p>◇机間巡視をして活動が活発に行われているかを確認する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>積極的にグループで話し合いをしている。</p> <p>◇必要に応じて生徒との問答をする。</p>
<p>ま と め 3 分</p>	<p>・本時の文法事項と本文内容を振り返る。</p> <p>【主語+be 動詞+形容詞+that】</p>		<p>◇文法、本文内容(ペットボトル、手すり、スロープの三点)について確認する。</p>

9 板書計画

